

## 不適切問題の取扱いについて

## 1日目①【必須問題】 問21

問21 疾病の一次予防に該当するのはどれか。1つ選べ。

- 1 従業員を対象とした特定健康診査・特定保健指導
- 2 喫煙者を対象とした禁煙教室
- 3 糖尿病患者を対象とした栄養指導
- 4 うつ病患者を対象とした社会復帰支援
- 5 新生児を対象としたタンデムマススクリーニング

## 採点上の取扱い

1と2の選択肢を正解として採点する。

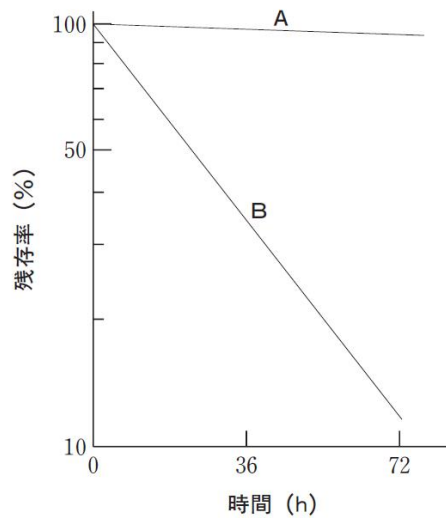
## 理由

選択肢1の特定健康診査・特定保健指導は一般的には二次予防に該当するが、一次予防としての側面も否定できないため。

## 2日目①【一般問題（薬学実践問題）】 問 197

問 197（物理・化学・生物）

アミノグリコシド系抗生物質と $\beta$ -ラクタム系抗生物質の両水溶液を混合して残存率を測定したところ、下のようなグラフが得られた。ただし、横軸は時間（h）、縦軸は抗生物質の残存率（%）を片対数プロットしたものである。このグラフでBは（①）である。また、このグラフからBは（②）に従って分解していると考えられる。①、②の組合せとして正しいのはどれか。1つ選べ。



	①	②
1	アミノグリコシド系抗生物質	0次反応
2	$\beta$ -ラクタム系抗生物質	0次反応
3	アミノグリコシド系抗生物質	1次反応
4	$\beta$ -ラクタム系抗生物質	1次反応
5	アミノグリコシド系抗生物質	2次反応
6	$\beta$ -ラクタム系抗生物質	2次反応

採点上の取扱い

採点対象から除外する。

理由

本設問の条件では図が不適切であり、アミノグリコシド系抗生物質及び $\beta$ ラクタム系抗生物質のいずれが図中のBに該当するかを特定することができないため。

## 2日目①【一般問題（薬学実践問題）】 問 208

問 208-209 72歳男性。いつもは21時頃に床に入り、夜間に1～2回トイレに起きることはあるが、眠れていた。1週間前より寝つきが悪くなり、内科を受診した。以下の処方箋が出され、保険薬局に持参した。併用薬はなく、肝機能、腎機能に異常はない。この薬剤を服用するのは初めてである。

(処方)

ゾルピデム酒石酸塩錠 5 mg 1回1錠 (1日1錠)  
1日1回 就寝前 7日分

### 問 208 (実務)

今回の処方に関する服薬指導として適切なのはどれか。2つ選べ。

- 1 眠れるようになれば、いつ服用をやめても構いません。
- 2 就寝前に飲酒しても構いません。
- 3 眠れなければ、服用量を増やしても構いません。
- 4 グレープフルーツジュースを飲むのは避けてください。
- 5 カフェイン（コーヒー、紅茶など）の摂取は、夕方以降は避けてください。

### 採点上の取扱い

採点対象から除外する。

### 理 由

医師の処方意図を確認しながら選択肢1のような服薬指導を行うことは適切と考えられるが、本設問の正答とするには条件設定が不十分であるため。